



岐阜市放課後児童クラブ

#子育て世代

#ステップアップ



どんな活動をしていますか？

岐阜市では仕事や病気などの理由で昼間に保護者が自宅にいない児童のため、全小学校に放課後児童クラブを設置しており、私は三里小の放課後児童クラブおおぞらで支援員をしています。

本年度、おおぞらには1年生から4年生までの178人が登録をしています。6クラスに分け、私は支援補助員やアルバイトの方と計4人で40人を見守っています。平日は授業終了後から午後7時まで開いており、子どもたちは宿題をしたり、漫画や本を読んだりパズルをしたり、体育館で体を動かしたりしてのびのびと過ごしています。支援員は勉強を教えることはなく、見守りが主です。

活動を始めたきっかけは？

12年間、学校給食の調理員をしていたのですが、親の介護を理由に退職しました。介護

に専念していたとき、知り合いに「気分転換に放課後児童クラブで働いてみたら」と誘われ、両親が他界するまでの7年間は週1日、アルバイトとして携わりました。その後2年間は支援補助員をし、本年度から支援員をしています。

子どもたちと接する中で感じることは？

春に子どもたちに「ここは第二の家です。ただいまと言って入って来ましょう」と伝えたところ、だんだんと「ただいま」と言ってくれる子が増えてきてうれしいです。学校のことや家族でのお出かけのことなども話してくれるようになり、関係ができてきたのかなと感じています。

本当にいろんな子がいて、けんかもよく起こります。言い分を聞いて仲裁することは簡単ではなく、接する難しさを感じることもあります。一緒に働く方々の多くは私よりも経験が長

く、こどもとの接し方や切り替えの早さなど見習うべき点ばかりです。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

ぜひやってみてほしいですし、やって初めてわかることがあります。子どもたちはこちらの予想を超える行動をすることもあっておもしろいですし、そこから新たな気づきもあります。

離れて住む小学生の孫への接し方も変わりました。これまでは食事マナーや勉強のことなど口を出しがちでしたが、今は「まずは話を聞かない」という考え方になりました。

年を重ねた後にこんなにも新鮮な経験ができるとは思っていませんでした。検討しているのであれば、一歩踏み出していただければと思います。



#子育て経験者

#親子で活動



読み聞かせと音あそび Dream

どんな活動をしていますか？

近藤さん 垂井町内のこども園や小学校、子育て支援センターなどで絵本の読み聞かせをしています。私の読み聞かせの場面に合わせて、長女のさやかがBGMとしてクラシック音楽や童謡などを生演奏してくれています。音楽があることで、子どもたちの反応が大きく変わることを感じています。

坂さん 2人のこどもを出産後12年ほど前から一緒に活動しています。私も母も仕事がありますので、それぞれの仕事の合間を縫って活動しています。

活動を始めたきっかけは？

近藤さん 一番は大病を患って10歳で他界した次女が存在です。

私はもともと読み聞かせや本が好きで、こどもが幼い頃から地域の読み聞かせサークル「ぼけっと」で活動しています。次女の入院中もよく読み聞かせを

していました。

また、次女はさやかのピアノ演奏を聴くのも大好きでした。次女の好きだったこれらを合わせた活動がしたいと、さやかの子育てが落ち着いたタイミングで始めました。

活動への思いは？

近藤さん 最近の子どもたちの多くは絵がはっきりしている本が好きで、文字の多い本は苦手に感じるようです。それでも日本の昔話や垂井町に根付いた昔話などにも親しんでもらいたいという思いから、童謡の生演奏や、小道具を使い、楽しく伝える工夫をしています。

こうして一緒に活動していると「ずっと仲良し親子なんだ」と思われるかもしれませんが、次女のことを含めていろいろな山を乗り越えて今があります。親子のつながりは、我が子がいくなつになっても変わることなく、一緒にできることや楽しむこと

をみつけられるといいなと思います。

坂さん 私自身、活字が好きではありませんが、絵本で育ったので、絵本のない育児は考えられず、我が子にもたくさん読み聞かせをしました。活字好きに育ったかはわかりませんが、2人とも電子書籍は何か違うようで、紙の漫画を繰り返し読むことを好みます。

保護者の皆さんにはぜひ、子どもたちにいろいろな本を読んであげてほしいですね。絵本を通した親子の触れ合いの時間はいろいろな形となって続いていますから、ぜひその時間を楽しんでいただければと思います。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

近藤さん 読み聞かせは、絵本を通じて人とのつながりを身近に感じられる活動です。こどもも大人も関係なく楽しみながら関わってもらえたらうれしいです。



この支援に関わりたい！

主な活動場所 岐阜県内の各小学校など

問い合わせ 各市町村の放課後児童クラブ担当課

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/6888.html>

支援のカタチ

岐阜県内の各小学校の放課後児童クラブでの児童の見守り、生活指導



この支援に関わりたい！

主な活動場所 不破郡垂井町内

問い合わせ 近藤佐知子さん TEL:090-1234-1457

支援のカタチ

保育園、小学校、子育て支援センターなどで読み聞かせ(生演奏によるBGM有り)



こどもんち cafe&kitchen
登録事業者 **どるふいん**

#店舗活用

#保育士

#子育て経験者

#資格保有者

民間
学童保育 **どろんこ子どもクラブ**

どんな活動をしていますか？

私たちのカフェを、大垣市の居場所づくり施策「ほっとな居場所(愛称・こどもんち)」に登録しています。「こどもんち」とは、学校でも家でもなく、こどもがただそこで過ごしていい場で、店舗や事業所のほんの一角で良く、条件はこどもにとって安心できる大人がいること。

そのほかに、どるふいんでは、お客さんが購入してこどもたちが無償で使える「ドリームチケット」があり、おなががすいたらこれを使ってハヤシライスを食べてもOK。緩やかに見守る中で、悩みを抱える子に気づけるかもしれないし、その子自身が話してくれることもあるでしょう。

活動を始めたきっかけは？

登録したきっかけは、「ふらっとこどもが立ち寄れる場所が地域にもっと増えたらいいな」と思ったことでした。どるふいんでは「こどもんち」だけでなく、

こども食堂などさまざまな活動をしています。根底にあるのは「こどもの命と笑顔を守りたい」「こどもが大人になるまで生きられる社会にしたい」という願い。そのために、お母さんの笑顔を守りたい。そして、私自身が多くの人に救われてきて受けた恩を、子育てに励む人たちに送っていこうという思いがあります。この場所が、親も子もほっとできる場所でありたいと思っています。

また、私は保育士資格を持ち、保育の現場で働いたことがあります。そのときに、お母さんから相談を受けることもありましたが、業務の都合で十分に時間を取れないこともありましたが、その経験から、気軽に相談ができる場として、民間の力も必要だと感じたこともきっかけの一つです。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

活動を通じて、「自分も何かしたい」と思っている人は想像以上に多いことを知りました。支援を受けた方が「私にもできることはないか」と言ってくれます。そんなとき、「私ではなくて、困っている人を見つけたらその人に手を差し伸べてね」と伝えています。これを恩返しになぞらえて「恩おくり」と呼んでいます。

次につなげていくには、助けられた人が、次は助ける側になること。とはいえ、事情があつてできないときもありますよね。

だから、私たちのモットーは「できるときに、できる人が、できることを」。小さな1回でも、それは次につながる「恩おくり」だと思います。

どんな活動をしていますか？

大垣市内で民間学童保育を行っています。1999年に4人の保護者が季節学童として立ち上げたのがきっかけで、現在は、平日は毎日午後7時15分まで、土曜日と長期休暇は午前7時30分から開き、小学1~6年生までの100人以上が登録しています。

こどもたちはドッジボールをしたり、外へ出て水路で魚を探したりと、それぞれがやりたいことを見つけながらのびのびと過ごしています。

どろんこ子どもクラブは、親さんと共同運営という形を取っており、親さんにはバザーや広報、さくらまつりなど8つの専門部会に参加していただいています。特にさくらまつりは年度末に行う一大イベントで、何度も打ち合わせをして内容を決め、軽食のお店も出してもらっています。大変ではありますが、親さん同士や、私たち指導

員と親さんが深く関われる貴重な機会となっています。

活動を始めたきっかけは？

私のこどもは、どろんこ子どもクラブを運営している社会福祉法人西美濃福祉会の保育園に通っていました。こどもも目線、こどもファーストを大切にする保育士に感銘を受け、二人目妊娠中に勉強を始め、保育士資格を取得しました。

こども同じようにこどもに向き合っていることが分かり、この場所で働くことにしました。

こどもたちへの思いは？

本人が「楽しい」と思える場所であり続けたいという思いが一番です。小学1~6年生までが一緒に過ごす場所です。で少しは上下関係があります。けんかも毎日どこかで起こっています。それらは大人になるための経験として大切なことなので、ここでの生活の中で

自然と学んでいってもらえればと思います。

どろんこ子どもクラブの今後は？

今でも、体をいっぱい使って遊べる環境が整っており、多くの方に利用を希望していただいています。

2026年夏の完成を目指し、現在、700mほど西側に新施設を建設しています。お庭も設けますので、より一層、伸び伸びと遊べるようになるので今から楽しみです。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

こどもたちは怒ったり泣いたり、いろんな表情を見せてくれます。大変なときもありますが、本当におもしろいですし、成長した姿を見られる喜びはとても大きいです。こどもが好きな方にはぜひ、このやりがいを感じていただきたいです。



●この支援に関わりたい！

主な活動場所 大垣市新田町3丁目23-2

問い合わせ 0584-76-3708

●支援のカたち

こどもの居場所づくりなど



●この支援に関わりたい！

主な活動場所 岐阜県内の各小学校など

問い合わせ 各市町村の放課後児童クラブ担当課
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/6888.html>

●支援のカたち

岐阜県内の各小学校の放課後児童クラブでの児童の見守り、生活指導